

---

# 洛南高等学校附属中学校合格

---

佐藤 楓 さん

(所属 千里中央教室)

洛南高等学校附属中学校合格

高槻中学校合格

清風南海中学校合格

愛光中学校合格

テーマ 受験勉強～春夏秋冬の苦しみ

## 「日々の積み重ねの大事さ」

私は、4年生の頃から憧れていた第一志望の洛南高附中に合格することができました。この体験記がみなさんのお役に立てれば、うれしいです。

2月から6年生の授業が始まるにあたり、母が説明会に参加し、洛南受験には最レが良いとのことでした。国語と算数は最レを、社会は得意で、さらに知識を伸ばすために副学園長先生の①組を、理科は苦手だったので、理科の対策授業を受講しました。また、洛南算数300やプラクティスも受講しました。春先は苦手分野の克服に取り組みました。

7月からは日曜志望校別特訓が始まるので、最レ国語を終了しました。また、保育園から続けていたスイミングも終了しました。海の日に行われたL洛南コース特訓授業を受け、いよいよ受験の天王山だと気が引き締められました。日曜志望校別特訓、夏期、平常（マスターコース）、最レ、そして「洛南ヘキサゴン」とさらに宿題に追われることになるため、毎日早朝特訓を受けました。質問もでき、勉強に集中できるので、とてもよかったです。夏以降は、毎日何をこなしていくか、母と1週間ごとに細かな計画を立てました。みんなが本気モードになり、公開学力テストの成績が少し落ちましたが、今の頑張りが秋以降に反映すると信じ、今やるべきことに集中しました。

9月からサタチャレが始まり最レ算数を終了しました。学校の運動会の練習などもあり、毎日、大変でした。この頃から、夏の頑張りが成績に表れてきました。11月から、勉強の気分転換になっていたピアノのレッスンも受験までお休みし、併願校も含め、過去問に取り組み始めました。本番同様、学校で受験できる洛南中プレ、公開学力テストや合否判定学力テストも良い成績で自信が持てるようになってきました。

12月に入り、受験日までに洛南の過去問は8年分を2回、併願校は6年分を1回ずつ解きました。直前特訓でも、早朝午後特訓を受けました。前受け、併願校、洛南、すべて落ち着いて受験でき、合格することができました。受験を終え、やはり毎日の積み重ねが大事だと感じました。

浜学園の先生方、事務の方々、ありがとうございました。